

公共事業再評価調書

整理番号 H16 - 24

担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 6 5 1
		E - MAIL	doro @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (10 年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	--------------	-----------	---------

1 事業概要

事業種別	道路事業	事業主体	県 市町村 其他 ()				
事業名	地方特定道路建設整備事業	地区名等	碓ヶ関大鱈(停)線 早瀬野～島田 市町村名 大鱈町				
事業方法	国庫補助 県単独	財源・負担区分	国 % 県 1 0 0 % 市町村 % 其他 %				
採択年度	平成 7 年度 (用地着手 平成 7 年度 / 工事着手 平成 7 年度)						
終了予定年度	平成 1 9 年度 (年 月計画変更 当初計画時 年度)						
事業目的	地域が緊急に対応しなければならぬ課題に因るため、早急に整備する必要のある特定の県道の区間における事業である。						
主な内容	バイパス整備 計画延長 L=1.50km (線形改良) 計画幅員 W=5.5(10.5)m						
事業費	採択時総事業費 1,474 百万円 (単位:百万円)						
		～13年度	14年度	15年度	16年度	小計	17年度～ 合計
	計 画 (うち用地費) 年 月変更	()	()	()	()	1,144 (375)	330 (0) 1,474 (375)
	実 績 (うち用地費)	962 (368)	32 (0)	100 (0)	30 (7)	1,124 (375)	350 (0) 1,474 (375)

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			76.3 % [/] (100.0 %) [/]	98.3 % [/] (100.0 %) [/]
	主要工種毎割合 (事業費)	改良舗装 (989百万円)	64.6 %	97.0 %
		橋梁 (110百万円)	100.0 %	100.0 %
用地 (375百万円)		100.0 %	100.0 %	
説明	工区内に橋梁 1 基を含む計画延長 1.5km のバイパスである。県単独事業のため単年度の事業規模が小さいことから進捗は小さいが、これまで比較的順調に事業を進めている。			
問題点・解決見込み	特になし			
事業効果発現状況	供用区間なし			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	[全国の評価] 本事業は平成 1 5 年度までの制度であったが、制度継続の全国的な要望を受けて、平成 1 6 年度から 1 9 年度まで延長されることとなった。	[県内の評価] ・公共交通機関の未整備な本県にとって、車を主とする交通に頼らざるを得ないのが現状であるが、まだ未整備区間が多く(県道の改良率 全国 64.5% 東北 6 県 67.6% 青森県 62.9%)、豪雪地帯でもあることから冬季の安全確保や社会基盤整備としての道路整備に対する要望は多い。
	当地区における評価	当該区間は幅員狭小区間であり、集落間を結ぶ代替性のない道路であるため、その整備が強く望まれており、黒石市長を会長とする南黒市町村連絡協議会が平成 1 5 年 9 月 1 8 日に行った知事要望にも、大鱈町から整備促進の要望が出されている。	
必要性	・当該路線は県管理道路である。 ・当該路線は幅員狭小区間として交通安全上ネックになっており、早期の整備が求められている。		(a) . b
適時性	・当該路線は地域の産業活動・社会経済活動に重要な役割を果たしているだけでなく、阿闍羅山を周回し大鱈町・碓ヶ関村両町村の温泉地を連絡しているなどから、観光面からの重要性も認識されてきており、整備の必要性が高まっている。		(a) . b
地元の推進体制等	・平成 1 5 年 9 月 1 8 日の南黒市町村連絡協議会知事要望において、整備促進の要望が出されている。 ・用地取得が概成し、地元の理解が得られている。		(a) . b
効率性	・観光面からの重要性が増し、観光振興に寄与する。		

(3) 費用対効果分析の要因変化

A ・ (B) ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時(計画全体)	増 減
費用項目 (C)	(1)事業費	- 百万円	1,728 百万円	- 百万円
	(2)用地費	- 百万円	69 百万円	- 百万円
	(3)維持修繕費	- 百万円	106 百万円	- 百万円
	(4)	- 百万円	百万円	- 百万円
	(5)	- 百万円	百万円	- 百万円
	総費用	- 百万円	1,765 百万円	- 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	- 百万円	966 百万円	- 百万円
	(2)走行費用減少便益	- 百万円	20 百万円	- 百万円
	(3)交通事故減少便益	- 百万円	0 百万円	- 百万円
	(4)	- 百万円	百万円	- 百万円
	(5)	- 百万円	百万円	- 百万円
	総便益	- 百万円	986 百万円	- 百万円
B / C		-	0.56	-

【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等)
 ・公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(平成16年2月 国交省)
 ・費用便益分析マニュアル(平成15年8月 国交省 道路局 都市・地域整備局)
 【費用対効果分析における特記事項】
 ・県単独事業のため事業採択時に費用対効果分析は行っていない。

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 ・路盤材・舗装合材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。	(a) ・ b
代替案	【代替案の検討状況】 ・比較ルートとしては、現道拡幅が考えられるが、現道拡幅は補償対象家屋が多くなり地域生活に与える影響が大きく、経済的にも不利であると考えられることから、実施中のバイパス案が最適である。	(a) ・ b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 ・平成15年9月18日の南黒市町村連絡協議会知事要望において、整備促進の要望が出されている。	【住民ニーズ・意見】 ・当該区間は幅員狭小区間であり、集落間を結ぶ代替性のない道路であるため、その整備が強く望まれている。	(a) ・ b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1)地域区分 T4a (2)対応状況 配慮している 配慮していない	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している 配慮していない	(a) ・ b
地域の立地特性	【特記事項】 ・碓ヶ関大鰐温泉郷県立自然公園内に位置することから、土砂及び濁水を流出させないことに配慮して工事をする事としている。		
	・当該地区は、過疎地域、振興山村地域、辺地区に指定されている。 ・当路線は国道7号の代替性確保の性格を持つ主要な路線である。 ・救急患者の大鰐町、碓ヶ関村医療機関への交通の利便性確保が急務となっている。		

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続 計画変更 中止 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	・用地取得も概成しており、生活道路の整備であることから、今後とも計画的に整備を促進していくことが必要である。B/Cは低い、救急患者等の医療機関への利便性向上が急務であることから「継続」としている。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり 対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	継続 計画変更 中止 休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	意見書のとおり
評価理由	